

■支援の実績

依頼者	株式会社北拓	三菱地所・サイモン株式会社	九州旅客鉄道株式会社
支援の形態	検証	検証	検証
履行時期	①2022年9月30日 (ローン実行時の基準年排出量の検証) ②2023年3月20日 (ローン実行後の検証1回目)	2023年10月4日 (ローン実行後の検証1回目)	2023年8月18日 (ローン実行後の検証1回目)
業務の概要及び特徴等	①2022年のサステナビリティ・リンク・ローン実行におけるKPI,SPTとして、Scope1,2の排出量削減目標として中小企業SBTの目標の承認とともに目標達成に向けた排出量削減を掲げている。当社は「みずほサステナビリティ・リンク・ローンPRO」の契約において、借り手である北拓に対し2050年まで毎年検証を行うこととなっている。 融資実行に際し、排出量削減の基準年となる2021年9月期の排出量検証を行った。 ②融資実行後の一回目の検証として、2022年9月期の排出量検証を行った。	2022年のサステナビリティ・リンク・ローン実行におけるKPIとして、再生可能エネルギー比率(「RE100」が掲げる目標の達成に準拠)とすること、SPTは2023年以降、2032年の融資期間終了までの間、自社使用電力の再生可能エネルギー比率100%を維持することとしている。当社は「みずほサステナビリティ・リンク・ローンPRO」の契約において、借り手である三菱地所・サイモンに対し再生可能エネルギー使用量および再生可能エネルギー電力比率について検証を行った。	2022年9月に策定したサステナビリティ・リンク・ローン・フレームワークにおけるKPIとして、Scope1,2のCO2排出量とすること、SPTはScope1,2の2030年度におけるCO2排出量50%削減としている。当社はフレームワークに基づく「サステナビリティ・リンク・ローン」の契約において、借り手である九州旅客鉄道に対し2023年3月期のScope1,2排出量について検証を行った。
本業務における専門性	電気、気体燃料・液体燃料の専門性をもつ主任検証人がチームリーダーを務めており本検証における専門性を満たしている。	電気、気体燃料・液体燃料の専門性をもつ主任検証人がチームリーダーを務めており本検証における専門性を満たしている。	電気、気体燃料・液体燃料の専門性をもつ主任検証人がチームリーダーを務めており本検証における専門性を満たしている。